

科目名	情報通信ネットワーク（情報通信ネットワーク論Ⅰ） Computer and Communication Network Systems (Computer and Communication Network Systems I)						
科目担当者	川島 秀樹 KAWASHIMA Hideki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義／実習	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	インターネットを始め、現在はネットワークを前提としてコンピュータが利用されている。ネットワークを構築するには、ネットワーク技術の基礎知識が要求される。本講義ではコンピュータ・ネットワークの基本となるプロトコル（決まりごと）について学習し、どのようにして通信が行われているのかを理解する。そして、実際のネットワーク構築に役立てられるように基本的な実習を行う。						
授業の到達目標	① パソコンのネットワーク接続設定の状態の確認や設定ができるようになる。 ② データがどのようにして相手に届くのかを理解できるようになる。 ③ 自宅や事務所など小さなネットワーク構築ができるようになる。 ④ 迷惑メールなどどのように対応する必要があるか判断できるようになる。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション、情報の表現、コンピュータの構成					
	2	ネットワークの全体像、ネットワーク方式、通信プロトコル					
	3	ネットワーク接続機器					
	4	LANとWAN、通信の階層化、OSI参照モデル、ポート番号					
	5	インターネットの仕組み、IPアドレス、IPアドレスのクラス、サブネットマスク、DNS					
	6	プライベートIPアドレス vs グローバルIPアドレス、ルーティング					
	7	MACアドレス、イーサネット規格、Webサービス・Webアプリについて、電子メール					
	8	ネットワーク管理とインターネットの応用					
	9	情報セキュリティと情報セキュリティ管理、脅威とマルウェア					
	10	サイバー攻撃、暗号技術、認証技術、ネットワークセキュリティ					
	11	無料レンタルサーバーについて、XAMPPのインストール、テキストエディター					
	12	Webページ、HTML作成概要					
	13	HTML作成見出し、箇条書き、リスト、段落、改行					
	14	ホームページCSS作成、ホームページ発表					
	15	総合演習					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を一読し、専門用語の意味などをあらかじめ調べておく。（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回課題を出すので、それを解いて演習してほしい。（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				50%		① ②
	課題				30%		② ④
平常点（講義中の態度・質疑・発言等）				10%		③ ④	
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	栢木厚著（2023）『令和06年 かやのき先生の基本情報技術者教室』技術評論社 ISBN-13：978-4297138271						
参考文献	必要な資料は、適時配布する。						
その他	本講義は、教員免許（情報）を取得して実際に高校教育で必要な知識や、教員採用試験に合格できるレベルで指導を行う。 初回から、ノートパソコンとLANケーブルを必ず持参すること。 教職の必修科目であるので、教育職員免許法施行規則第38条により、五分の四以上の出席を要件とする。 所定の講義回数を超える欠席については単位を認定しない。						